

兵庫 県  
保険医協会

# 西宮 支部 芦屋 ニュース

No. 368  
2023・11・25

発行

連絡先

〒662-0832

兵庫県保険医協会 西宮・芦屋支部

兵庫県西宮市甲風園一―一五 法貴皮膚科内

兵庫県保険医協会 電話〇七八(三九三)一八〇一

## 第43回支部総会記念市民公開講演会

### 歳を重ねることに希望が持てた

#### 夙川公民館に市民145人集う



人の老いと死の意味について講演する小林武彦先生

先生の講演は、生命は38億年前に地球上にRNAという生命のタネが誕生したことからはじまる。RNAは変化と選択という進化のプログラムを繰り返して、安定した形であるデオキシリボ核酸、DNAとなり、その遺伝情報を継代的に伝えるようになった。

ただ、DNAも複製を繰り返すたびに部分的に損傷が壊れていく。DNA修復酵素やその遺伝子もあるが、最終的に壊れることで複製できなくなる。それが寿命と考えられる。ちなみにヒトの寿命は120歳前後と考えられている。ただ、進化の過程でできた生物は、最初から死ぬようにできている。

つまり老化や死があるものだけが進化でき現存していると言える。

次に先生はヒトのみ老後がある、集団で生き延びてきたヒトでは、年長者がいる方が有利だったと説明した。

最後に感謝の認識、利他的、肯定的な老年的超越を目指し、幸福感に満ちた心境になるように老後を過ごしましょうと締めくくった。

多くの来場者から様々な質問が寄せられ、一つひとつ丁寧に回答された先生の姿に感銘を受けた。

【西宮市・半田医院 半田 伸夫】

西宮・芦屋支部は10月21日(土)、夙川公民館にて第43回支部総会を開催し、6人が参加。半田伸夫副支部長が会務報告、林田英隆副支部長が議長を務め、2022年度の支部活動のまとめと2023年度活動方針案を全会一致で採択したほか、新支部役員・評議員(医科)の改選が行われた(新役員一覧は下欄)。また、支部40周年記念誌『40年の歩み』完成のお披露目も行われた。

総会記念市民公開講演会は半田伸夫副支部長が司会、東京大学定量科学研究所の小林武彦教授が講師を務め、「生物はなぜ老い、そして死ぬのか」をテーマに開催。会員・市民ら145人が参加した。司会を務めた半田副支部長の感想を紹介する。

10月21日夙川公民館ホールにて、東京大学教授の小林武彦先生をお招きして市民公開講座が開催された。小雨交じりの天気にもかかわらず145人の一般市民の方々が来場された。

小林先生は九州大学を卒業して、米国国立衛生研究所などにて研究され、国立遺伝学研究所をへて、現職につかれた。日本学術会議の会員で、20万部のベストセラー新書『生物はなぜ死ぬのか』の著者でもある。



会員・市民ら145人が参加し、積極的な質疑応答が行われた

〈参加した市民からの感想〉

- ・ 年を重ねることに希望が持てた。
- ・ 学んできたこと、もらってきたものを社会に還すことを大切にしていきたい。
- ・ 「老年的超越」を目指し、ステキな老後を過ごしたい。

#### 西宮・芦屋支部 役員名簿 (敬称略)

- (支部長) 法貴憲  
(副支部長) 伊賀幹二、加藤隆久、林田英隆、半田伸夫、広川恵一、村上博(世話人)
- 岩下敬正、上田進久、川崎史寛、川野悦司、北垣幸央、坂尾将幸、佐々木健陽、多田梢、土山雅人、林功、藤森隆史、前田信証、三浦一樹、宮崎睦雄、森博雄、安岡真奈美
- (相談役) 堅田均 北井 明、幸原久、法西浩、森下敬司
- (評議員) 上田進久、坂尾将幸、土山雅人、林功、宮崎睦雄
- 〔歯科〕加藤茂芳、藤森隆史
- (予備評議員) 岩下敬正、川崎史寛、川野悦司、北垣幸央、前田信証、三浦一樹、森博雄、安岡真奈美
- 〔歯科〕小田泰史

#### 西宮・芦屋支部40周年記念誌 『40年の歩み』完成しました

西宮・芦屋支部は、皆様のおかげをもちまして40周年を迎えることができました。このたび支部の取り組みをまとめた記念誌『40年の歩み』を上梓いたしましたので、支部会員の先生に1冊お送りいたします(12月『月刊保団連』同封)。ご査収くださいませ。



表紙書は森下敬司先生

# 第32回日常診療経験交流会で演題発表

## 支部の先生が診療経験・取り組みなどを報告

協会は10月29日(日)、「それぞれが思い描いたコロナとその先」のテーマで第32回日常診療経験交流会を協会会議室にて開催した。西宮・芦屋支部の先生も分科会での演題発表や文化展示・パネル発表などで日常診療の経験や取り組みを報告した。



「コロナ診療から得るもの」  
西宮市・半田医院  
半田伸夫先生



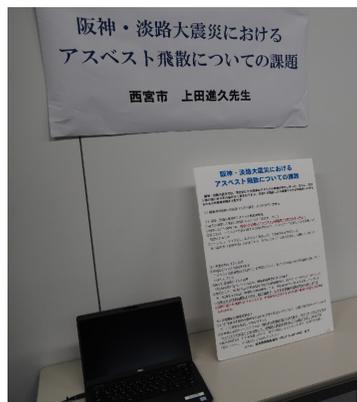
「高血圧症通院者100名について」  
2023年での通院継続と中止状況にみる診療課題の検討」  
西宮市・広川内科クリニック  
広川恵一先生



「マイナ保険証と紙の保険証廃止について」  
PDCAサイクルをまわすには」  
西宮市・伊賀内科・循環器科  
伊賀幹二先生



「Botanical Art カラーの園芸品種の1球根から現れた3種の異なる花色」  
西宮市・法西医院 法西浩先生



「阪神・淡路大震災におけるアスベスト飛散についての課題」  
西宮市 上田進久先生



「東日本大震災被災地訪問の記録」 広川 恵一先生

### 協会提供ラジオ番組

## 「聴く医療」放送中!

### 伊賀副支部長が出演

協会が提供するラジオ関西でのラジオ番組「聴く医療」が、毎週日曜日に放送されている。11月19日には支部副支部長の西宮市・伊賀内科・循環器科の伊賀幹二先生が出演。支部で取り組んでいるキャンペーンでもある「ながらスマホの危険性」について話した。

伊賀先生は、患者さんの中にスマートフォンを操作しながら自転車を運転している人に衝突され、怪我をした人もいると紹介。キャンペーンを通じて、「特に高齢者や障害者など、歩行者が思っている以上に恐怖を感じていることが分かった」とした。

また支部でのキャンペーンについて、「この30年で誰もが公共の場での喫煙について違和感を感じるようになった。同じように、『ながらスマホ』をしている人に違和感を感じる社会になることを期待している」と話した。

「聴く医療」は協会が提供する毎週日曜日の朝6時30分から45分の15分間の番組。放送後には協会HPで動画で見ることができると、ぜひご覧いただきたい。



ながらスマホの危険性について話す伊賀副支部長(右)

協会HP「聴く医療」特設サイトはこちら



<https://x.gd/sYJmG>

### 世話人会だより

西宮・芦屋支部は10月27日(金)に西宮市立勤労会館で世話人会を開催。3人が参加した。

- 【I. 最近の診療経験の交流】
  - ・ 新型コロナ診療・ワクチンなど
  - ・ 福島雅典先生主催・MCIシンポジウムフォーラムの報告

【II. 予定・企画】

- ① 市民講演会(講師・小出裕章先生) (24年3月予定)

② 阪神淡路大震災30年のつどい

【III. 報告】

- ① 第43回支部総会、総会記念市民公開講演会(10・21)

【IV. その他】

- ① ながらスマホ危険啓発キャンペーンについて

【V. 協会・保団連行事】

- ① 第32回日常診療経験交流会(10・29)

\*世話人会の日程は毎月第4金曜日です。次回は12月22日(金)に予定しております。支部についての意見や企画などをお寄せください。